

もも組クラスだより NO. 6

ドキドキしながら初めてもも組の部屋に入ってきてから、1年がたとうとしています。「先生、先生」と大人を頼ったり、「～でもいい？」と聞いてばかりいた子たちが、今では自分たちで準備して遊びを進めようとしたり、帰る時には「もっと遊びたかった」「明日も～しような」と互いに言い合っています。最近ではそら組の子どもたちの姿を見て「すごいな」と憧れの気持ちを持ち、自分たちがそら組になることを楽しみにしています。

お風呂屋さんごっこ

劇遊びの後もも組の子どもたちのカエルごっこは続いていました。雨ごいダンスを踊り、池の水のビニールを自分たちで動かして「水が増えたー！」「やったー！」と喜んで自分なりの泳ぎ方を工夫しながら泳いで遊んでいました。そのうち、ビニールの水を床に置いて足の中に入れる遊び方を思いついた子どもたち、「お風呂みたいやな」「お風呂屋さんや！」とお風呂屋さんごっこが始まりました。

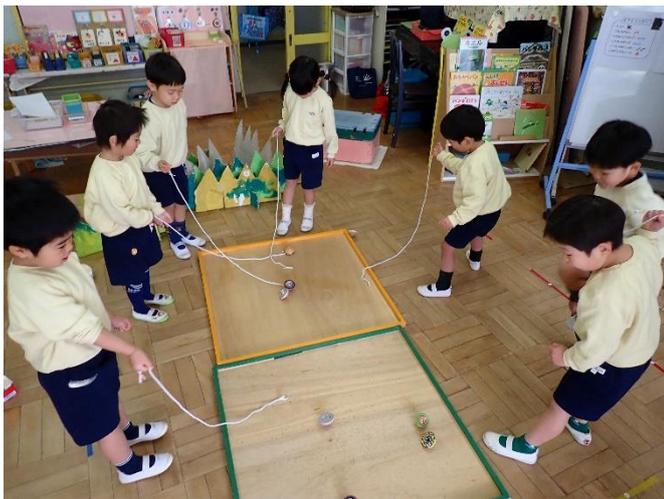
かえるのお風呂屋さんがやりたい子どもと、人間のお風呂屋さんがやりたい子どもに分かれ、お風呂屋さんやお客さんになったり、友達と一緒に水に入ったりしながら「気持ちいいね」と笑顔で言い合っていました。自分たちの経験したことがあることと、考えたことを合わせ、友達と一緒に作るおもしろさを感じていました。



こままわし

12月からチャレンジしていたこま遊び。最初はこまに紐を巻くことも難しかった子どもたちですが、教師と一緒にやってみたり、友達に励まされたりしながら、諦めずに毎日繰り返し挑戦しました。今では朝登園するとこまをしたくて急いで準備をし、友達と「いっせーのーで！」とこまを回し、誰が長く回っているかを競ったり、こま板の上に自分たちでいろいろな容器を置いて、その中にこまを入れて回すことができるかを競ったりしています。

みんながこまを回して、難しさも分かっているので、友達が容器の中で回せたときも「おー！」「いけたー！」と一緒に驚いたり喜んだりし、「自分もやるぞ！」と取り組んでいます。自分だけでなく、友達がいることでより楽しさを感じています。



転がし中あて

「氷鬼」や「増え鬼」でルールのある遊びの楽しさを感じていた子どもたち、今は「中あて」に夢中です。

園庭で遊ぶ時間になると、走って出て行き、自分たちでボールや三角コーンを用意し、遊び始めています。毎日遊ぶうちに、次にボールがどこに転がっていくか考えて動いたり、遊び方で困ったことがあると自分たちで「こうしたらどうだろう」と考えたりする姿も見られるようになりました。「自分たちで決めたことを守って遊ぶともっとおもしろくなる」「友達と一緒にすることがおもしろい」と感じている子どもたちです。



自分たちで道具の片付け



小中島公園



保護者の皆さま、一年間ありがとうございました。子どもたちはもも組の生活や遊びの中で、自分がやりたいことを思い切りする楽しさ、友達と一緒にすることの面白さ、自分の思いをのびのびと出すことを経験してきました。保護者の皆さまが、保育にご理解やご協力をくださり、あたたかく見守って来てくださったことに感謝しております。あこがれのそら組になって、子どもたちがこれからより元気にたくましく伸びていくことを楽しみにしています。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

1年間、ももぐみの子ども達と一緒に過ごすことができ、とても楽しかったです。入園当初は自分だけで遊んでいた子ども達が、3学期にはみんなで協力してケロリンさんのためにしゃっきりだけを探しに行き、見つけてくれました。そして最近では同じ目当てをもち、こまを回したり、ルールのある遊びを決めたりする楽しさを感じています。年長になっていろいろなことを一生懸命に、悔しいこと、嬉しいこと、体験してください。

保護者の皆様、温かいまなざしで見守り、接していただきありがとうございました。